

れいわ ねんど
令和5年度

がっこうじゅんかい こうえん じぎょう
学校巡回公演事業

こうえん
オーケストラ公演

おおさか こうきょうがくだん
大阪フィルハーモニー交響楽団



©飯島隆

がっこうじゅんかいこうえん じぎょう
「学校巡回公演事業」

しょうがっこう ちゅうがっこうなど ぶん かげいじゆつだんたい じつえんげいじゆつ じゅんかいこうえん おこな ことども しつ たか ぶん かげいじゆつ かんしゆ
小学校・中学校等において文化芸術団体による実演芸術の巡回公演を行い、子供たちが質の高い文化芸術を鑑賞・
たいけん きかい かくほ ことども ゆた そうぞうりよく そうぞうりよく し こうりよく のうりよく
体験する機会を確保するとともに、子供たちの豊かな創造力・想像力や、思考力、コミュニケーション能力などを
やしな しょうらい けいじゆつか かんきやくそう いくせい すぐ ぶん かげいじゆつ そうぞう し もくてき
養い、将来の芸術家や観客層を育成し、優れた文化芸術の創造に資することを目的としています。

ことども じつえん しどうまた かんしゆ しどう おこな じつえん ことども さんか
ワークショップでは、子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。また、実演においては、子供たちが参加
くふう おこな
できる工夫を行います。



舞台芸術等総合支援事業（学校巡回公演）
独立行政法人 日本芸術文化振興会

プログラム

エルガー／こうしんきょく いふうどうどう だい ばん行進曲「威風堂々」第1番

がっ きしやうかい
<楽器紹介>

ビゼー／おんな だい くみきょく「アルルの女」第2組曲より“ファランドール”

おおぐり ひろし おおさかぞくよう げんそうきょく
大栗 裕／大阪俗謡による幻想曲

きゆうけい
～～～ 休憩 ～～～

きょうえん
<ボディ・パーカッションで共演！>

し きしやたいけん
<指揮者体験コーナー>

ぶきょく だい ばん
ブラームス／ハンガリー舞曲 第5番

ぜんいんがっしょう
<全員合唱>

おんがく はくちやう みずうみ しゆうきょく
チャイコフスキー／バレエ音楽「白鳥の湖」より 終曲

※学校により一部内容が異なる場合がございます。

曲目について

エルガー／こうしんきょく いふう どう どう だい ばん行進曲「威風堂々」第1番

イギリスの作曲家エルガーが作曲した全5曲からなる行進曲集「威風堂々」。その中で最もよく知られているのがこの第1番です。堂々とした風格のある行進曲から始まるこの曲は、中間部の雄大で華々しい旋律が特に有名で、イギリスでは第2の国歌として愛唱されています。

ビゼー／おんな だい くみきょく「アルルの女」第2組曲より“ファランドール”

ビゼーの代表作「アルルの女」は、ドーデの同名戯曲の付随音楽として1872年に作曲されました。“ファランドール”の冒頭の荘厳な主題は広く知られており、活気のあるテンポで踊り狂う村人の華やかな場面を描いています。

おおぐり ひろし おおさかぞくよう げんそうきょく
大栗 裕／大阪俗謡による幻想曲

大栗 裕は2018年に生誕100周年を迎えた大阪出身の作曲家で、元大阪フィルのホルン奏者でもありました。大阪のお祭りを代表する天神祭のメロディーなど、大阪ならではの音楽がたくさん登場します。

ぶきょく だい ばん
ブラームス／ハンガリー舞曲 第5番

ブラームスはハンガリーのジプシー音楽をもとにしたハンガリー舞曲を全部で21曲作曲しました。本日演奏する第5番はハンガリー舞曲集の中でも最も有名な曲で、短調ながらもきらびやかな響きと、緩急自在に次々と変化するテンポが特徴です。

チャイコフスキー／おんがく はくちやう みずうみ しゆうきょくバレエ音楽「白鳥の湖」より 終曲

チャイコフスキーの3大バレエの一つ「白鳥の湖」は、数あるバレエ作品の中でも特に知られていて、現在でも数多く演奏されています。どこかで一度は聴いたことのある情景のメロディーが、短調から長調へと変化し迫力のある全合奏で幕を閉じます。ダイナミックな演奏を最後までお楽しみください。

〈オーケストラと指揮者〉

オーケストラには、高い音や低い音、激しい音や柔らかな音など、いろいろな種類の音を出す楽器があります。作曲家は、そうしたさまざまな音の楽器を組み合わせ、色とりどりの絵の具やクレヨンで絵を描くように、音楽を作っています。

そして指揮者は、楽譜に書かれた音符を研究して、作曲家がその音で表現しようとした気持ちを聴く人に伝えるために、オーケストラから音を引き出すのです。

パーカッション
トライアングルやシンバルなどおなじみのものから珍しいものまで、数えきれないほどの種類があり、音楽に彩りをそえます。

ティンパニ
いくつかの大きさの異なる大鼓を組み合わせています。管席からは見えませんが、足元のペダルで巧みに音程を変えながら演奏しています。

トランペット
明るく輝かしい音色のトランペットはブラスバンドなどでも大活躍です。

トロンボーン
伸びたがり縮んだりしなやかな音を鳴らすトロンボーンは500年以上前に生まれた歴史ある楽器です。

チューバ
金管楽器最大の楽器です。低くゆたかな音でオーケストラをつつこみます。



©飯島隆

ハープ
見た目も音色も優雅な楽器です。弦を指ではじいて音をだします。

ヴァイオリン
楽器に張られている糸の数を弓でこすって演奏します。演奏するときには巧みに松やにをぬります。

クラリネット
オーボエと同じくリードをつかいますが、こちらは1枚だけですが、音域が広く、表現力豊かな楽器です。

チェロ
ヴァイオリンやヴァイオラともが、立って演奏します。楽器がすべらないようにエンドピンで支えています。

ヴァイオラ
ヴァイオリンとそっくりですが、すこし大きめです。音もすこし低く、やわらかい響きがあります。

コントラバス
おとなの身長よりも大きな楽器です。ずっしりと迫力のある音がします。

ホルン
動物のツノでつくった角笛がルーツです。まるい見た目のとおり、やわらかい音がします。

フルート
むかしは木で作られていました。いまはシルバークラウドなど金腐製が多く、見た目はなややかです。

オーボエ
演奏会のはじめの音あわせはオーボエの音からはじまります。リードという薄い紙2枚を楽器につけて演奏します。

ファゴット
赤っぽい色の大きな楽器です。のどかな音からかなしい音までさまざまな場面で活躍します。

実施日程	実施校名	実施日程	実施校名
10月24日(火)	赤磐市立桜が丘小学校	11月15日(水)	橿原市立金橋小学校
10月25日(水)	福山市立戸手小学校	11月16日(木)	聖心学園中等教育学校
10月26日(木)	阪南市立桃の木台小学校	1月26日(金)	寝屋川市立池田小学校
11月14日(火)	御坊市立御坊小学校		

指揮／中田 延亮 ※10月24,25,26日開催公演担当

京都生まれ。筑波大学医学専門学群在学中に桐朋学園ソリスト・ディプロマコースでコントラバスを専攻する一方指揮を学び、在学中より活動を開始。2005年より本拠を欧州に移し、ウィーン市音楽院古楽科などで学んでいます。巨匠ジャン・フルネ氏に認められ、最晩年の生徒として師事しました。2007年ブルガリアのスタラザゴラ歌劇場でヨーロッパデビュー、またドナウ交響楽団主催の国際指揮者コンクールで第1位を受賞しました。2008～10年スタラザゴラ歌劇場首席客演指揮者を務めたほか、ポルト・アレグレ交響楽団、ブラショフ歌劇場、新日本フィルハーモニー交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、群馬交響楽団、京都市交響楽団、関西フィルハーモニー管弦楽団、九州交響楽団などと共演しています。

指揮／中井 章徳 ※11月14,15,16日・1月26日開催公演担当

岡山県倉敷市生まれ。ジュニアオーケストラでヴィオラとトロンボーンを演奏し、桐朋オーケストラ・アカデミー、キジアーナ音楽院(イタリア)、くらしき作陽大学大学院音楽研究科で指揮を学び、1998年、ポーランドで開催された第21回マスタープレイヤーズ国際音楽コンクールで指揮部門最高位の名誉ディプロマ賞とマスタープレイヤーズ大賞を同時受賞しました。これまでに札幌響、日本フィル、名古屋フィル、京都フィル、大阪フィル、日本センチュリー響、関西フィル、大阪響、岡山フィル、広島響、九州響などを指揮しています。現在は出雲芸術アカデミーの芸術監督をつとめながら、京都市立芸術大学大学院音楽研究科博士課程でイタリアオペラを中心に指揮の研究に取り組んでいます。

オーケストラ／大阪フィルハーモニー交響楽団

1947年春に、指揮者朝比奈隆を中心として大阪に誕生しました。現在、尾高忠明音楽監督のもと、年10回の定期演奏会を大阪の中心地・中之島のフェスティバルホールにて開催。それ以外にも、全国各地でさまざまなコンサートを、年間100回以上、行っています。また、CDもたくさん発売しています。

令和5年度 学校巡回公演事業 オーケストラ公演 大阪フィルハーモニー交響楽団



©飯島隆

「学校巡回公演事業」

小学校・中学校等において文化芸術団体による実演芸術の巡回公演を行い、子供たちが質の高い文化芸術を鑑賞・体験する機会を確保するとともに、子供たちの豊かな創造力・想像力や、思考力、コミュニケーション能力などを養い、将来の芸術家や観客層を育成し、優れた文化芸術の創造に資することを目的としています。

ワークショップでは、子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。また、実演においては、子供たちが参加できる工夫を行います。



舞台芸術等総合支援事業（学校巡回公演）
独立行政法人 日本芸術文化振興会

プログラム

エルガー／行進曲「威風堂々」第1番

<楽器紹介>

ビゼー／「アルルの女」第2組曲より“ファランドール”

大栗 裕／大阪俗謡による幻想曲

～～～ 休憩 ～～～

<オーケストラ分解演奏>

スメタナ／交響詩「モルダウ」より

<指揮者体験コーナー>

ブラームス／ハンガリー舞曲 第5番

<全員合唱>

チャイコフスキー／バレエ音楽「白鳥の湖」より 終曲

※学校により一部内容が異なる場合がございます。

曲目について

エルガー／行進曲「威風堂々」第1番

イギリスの作曲家エルガーが作曲した全5曲からなる行進曲集「威風堂々」。その中で最もよく知られているのがこの第1番です。堂々とした風格のある行進曲から始まるこの曲は、中間部の雄大で華々しい旋律が特に有名で、イギリスでは第2の国歌として愛唱されています。

ビゼー／「アルルの女」第2組曲より“ファランドール”

ビゼーの代表作「アルルの女」は、ドーデの同名戯曲の付随音楽として1872年に作曲されました。“ファランドール”の冒頭の荘厳な主題は広く知られており、活気のあるテンポで踊り狂う村人の華やかな場面を描いています。

大栗 裕／大阪俗謡による幻想曲

大栗 裕は2018年に生誕100周年を迎えた大阪出身の作曲家で、元大阪フィルのホルン奏者でもありました。大阪のお祭りを代表する天神祭のメロディーなど、大阪ならではの音楽がたくさん登場します。

スメタナ／交響詩「モルダウ」より

この作品はチェコの作曲家スメタナが、全6曲からなる連作交響詩「わが祖国」の第2曲として作曲したものです。チェコ国内最長の河川モルダウが流れていく様子を描写した美しい旋律を、各楽器の役割の解説を交えながら演奏いたします。

ブラームス／ハンガリー舞曲 第5番

ブラームスはハンガリーのジプシー音楽をもとにしたハンガリー舞曲を全部で21曲作曲しました。本日演奏する第5番はハンガリー舞曲集の中でも最も有名な曲で、短調ながらもきらびやかな響きと、緩急自在に次々と変化するテンポが特徴です。

チャイコフスキー／バレエ音楽「白鳥の湖」より 終曲

チャイコフスキーの3大バレエの一つ「白鳥の湖」は、数あるバレエ作品の中でも特に知られていて、現在でも数多く演奏されています。どこかで一度は聴いたことのある情景のメロディーが、短調から長調へと変化し迫力のある全合奏で幕を閉じます。ダイナミックな演奏を最後までお楽しみください。

〈オーケストラと指揮者〉

オーケストラには、高い音や低い音、激しい音や柔らかな音など、いろいろな種類の音を出す楽器があります。作曲家は、そうしたさまざまな音の楽器を組み合わせて、色とりどりの絵の具やクレヨンで絵を描くように、音楽を作っています。

そして指揮者は、楽譜に書かれた音符を研究して、作曲家がその音で表現しようとした気持ちを聴く人に伝えるために、オーケストラから音を引き出すのです。



©飯島隆

パーカッション
トライアングルやシンバルなどおなじみのものからめずらしいものまで、数えきれないほどの種類があり、音楽に彩りをそえます。

ティンパニ
いくつかの大きさの異なる太鼓を組みあわせています。客席からは見えませんが、足元のペダルで巧みに音程を変えながら演奏しています。

トランペット
明るく輝かしい音色のトランペットはブラスバンドなどでも大活躍です。

トロンボーン
伸びたり縮んだりしながら音を鳴らすトロンボーンは500年以上前に生まれた歴史ある楽器です。

チューバ
金管楽器最大の楽器です。低くゆたかな音でオーケストラをつつみこみます。

ハープ
見た目も音色も優雅な楽器です。弦を指ではじいて音をだします。

ヴァイオリン
楽器に張られている4本の弦を弓でこすって演奏します。演奏するときには弓に松やにをぬります。

クラリネット
オーボエと同じくリードをつかいますが、こちらは1枚だけです。音域が広く、表現力豊かな楽器です。

チェロ
ヴァイオリンやヴァイオラとちがって、立てて演奏します。楽器がすべらないようにエンドピンで支えています。

ヴァイオラ
ヴァイオリンとそっくりですが、すこし大きめです。音もすこし低く、やわらかい響きがあります。

コントラバス
おとなの身長より大きな楽器です。ずっしりと迫力のある音がします。

ホルン
動物のツノでつくった角笛がルーツです。まるい見た目のとおり、やわらかい音がします。

フルート
むかしは木で作られていました。いまはシルバークラウドなど金属製が多くなっています。

オーボエ
演奏会のはじめの音あわせはオーボエの音からはじまります。リードという薄い板2枚を楽器につけて演奏します。

ファゴット
赤っぽい色の大きな楽器です。のどかな音からかなしい音までさまざまな場面で活躍します。

実施日程	実施校名	実施日程	実施校名
10月24日(火)	赤磐市立桜が丘小学校	11月15日(水)	檀原市立金橋小学校
10月25日(水)	福山市立戸手小学校	11月16日(木)	聖心学園中等教育学校
10月26日(木)	阪南市立桃の木台小学校	1月26日(金)	寝屋川市立池田小学校
11月14日(火)	御坊市立御坊小学校		

指揮／中田 延亮 ※10月24,25,26日開催公演担当

京都生まれ。筑波大学医学専門学群在学中に桐朋学園ソリスト・ディプロマコースでコントラバスを専攻する一方指揮を学び、在学中より活動を開始。2005年より本拠を欧州に移し、ウィーン市音楽院古楽科などで学んでいます。巨匠ジャン・フルネ氏に認められ、最晩年の生徒として師事しました。2007年ブルガリアのスタラザゴラ歌劇場でヨーロッパデビュー、またドナウ交響楽団主催の国際指揮者コンクールで第1位を受賞しました。2008～10年スタラザゴラ歌劇場首席客演指揮者を務めたほか、ポルト・アレグレ交響楽団、ブラショフ歌劇場、新日本フィルハーモニー交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、群馬交響楽団、京都市交響楽団、関西フィルハーモニー管弦楽団、九州交響楽団などと共演しています。

指揮／中井 章徳 ※11月14,15,16日・1月26日開催公演担当

岡山県倉敷市生まれ。ジュニアオーケストラでヴィオラとトロンボーンを演奏し、桐朋オーケストラ・アカデミー、キジアーナ音楽院(イタリア)、くらしき作陽大学大学院音楽研究科で指揮を学び、1998年、ポーランドで開催された第21回マスタープレイヤーズ国際音楽コンクールで指揮部門最高位の名誉ディプロマ賞とマスタープレイヤーズ大賞を同時受賞しました。これまでに札幌響、日本フィル、名古屋フィル、京都フィル、大阪フィル、日本センチュリー響、関西フィル、大阪響、岡山フィル、広島響、九州響などを指揮しています。現在は出雲芸術アカデミーの芸術監督をつとめながら、京都市立芸術大学大学院音楽研究科博士課程でイタリアオペラを中心に指揮の研究に取り組んでいます。

オーケストラ／大阪フィルハーモニー交響楽団

1947年春に、指揮者朝比奈隆を中心として大阪に誕生しました。現在、尾高忠明音楽監督のもと、年10回の定期演奏会を大阪の中心地・中之島のフェスティバルホールにて開催。それ以外にも、全国各地でさまざまなコンサートを、年間100回以上、行っています。また、CDもたくさん発売しています。